

ドイツの先例に学ぶ 自由化後のエネルギー会社の姿



研修会のご案内

日本政策投資銀行とガスエネルギー新聞、日本経済研究所は共催で、セミナー「ドイツの先例に学ぶ—自由化後のエネルギー会社の姿」を開催します。

講師として、ドイツの地域エネルギー事業者である「RhonEnergie Fulda」(Fulda社)のCEOであるマーティン・ホイン氏を招聘。ガス、水道、熱供給に加え、近年は電力事業、通信事業にも参入した同社の取り組みを紹介いただきます。また、ホイン氏の講演に先立ち、日本政策投資銀行より「自由化で先行したドイツのガス業界の概況」についても解説いただきます。

自由化で先行したドイツで、地域に密着し、新しいビジネスモデルを構築するFulda社の取り組みはたいへん参考になると存じます。ぜひご参加ください。

開催日

10月28日 (水)

14時 講演 開始

17時15分終了

会場 **大手町フィナンシャルシティ カンファレンスセンター**

千代田区大手町一丁目9番7号 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

【プログラム】

ご挨拶

14:00~14:05

日本政策投資銀行 代表取締役社長 柳 正憲

講演

14:05~14:45

「自由化で先行したドイツのエネルギー業界の概要」

日本政策投資銀行 産業調査部 調査役 上田絵理

講演

14:45~16:30

**「お客さま件数5万件の地域ガス会社が、いかにして
ドイツのエネルギー企業トップ50となったか」**

Fulda社 CEO マーティン・ホイン氏 ▶英語による講演で同時通訳あり

質疑応答

16:30~17:15

質疑応答終了後、ホインCEOとの名刺交換の時間も設定しております。

推薦の辞

私たちは3年前に初めてホインCEOにお会いしました。当時は人口6万人ほどのドイツ・フルダ市で、100社近い新規参入事業者と戦う地域のガス供給事業者(シュタットベルケ)でした。その後、電力事業等の買収を経て、今ではドイツエネルギー公益事業者上位50社(約1,100社中)に名前を連ねるまでに成長しています。その鍵は『危機から逃げない経営戦略』。Fulda社の調達戦略や小売戦略は私たちのこれからを考える上でとても参考になるでしょう。自由化後の事業環境はどのように変化するか、その中で私たちエネルギー事業者は何をするべきか、考えるヒントがここにあります。

静岡ガス(株) 代表取締役会長 岩崎清悟、日本海ガス(株) 代表取締役社長 新田八朗

受講料: **30,000円** (税別)

定員: **60名**
(先着順となりますのでお早めにお申込みください)

お申し込み締め切り
10月21日 (水)

10月28日(水) 開催

セミナー「ドイツの先例に学ぶ 自由化後のエネルギー会社の姿」

お申し込み

下記の申し込み書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

お申し込み後、「受講票」「会場案内」「請求書」をお送りいたします。 FAX:03-3592-5793

お問い合わせ

ガスエネルギー新聞・営業企画局(担当小出/弓場) TEL:03-3592-5797

A4のままお送りください

FAX:03-3592-5793

ガスエネルギー新聞 営業企画局 行

2015年 月 日
(申し込み締め切り10/21)

「ドイツの先例に学ぶ 自由化後のエネルギー会社の姿」 参加申込書

参加者ご氏名	ご所属・役職

※氏名寛が足りない場合は、お手数ですがコピーしてお申し込みください。

連絡窓口(請求書・受講票・会場地図送付先)	
会社名	
ご担当名	所属部署名
電話番号 - -	FAX番号 - -
ご住所 〒 -	
e-mail address	

【会場】 大手町フィナンシャルシティ カンファレンスセンター 「ホール1」
千代田区大手町一丁目9番7号 大手町フィナンシャルシティサウスタワー



- 東京メトロ丸ノ内線大手町駅「A1出口」からは、アトリウムエレベーター、エスカレーターにて3階カンファレンスセンターへお越しいただけます。
- 大手町駅「E1出口」側の東京サンケイビル経由からは、エスカレーターにて地下1階または1階よりアトリウムエレベーター、エスカレーターにお乗り換えいただき、3階カンファレンスセンターへお越しいただけます。

受付確認欄